

# 国士舘大学大学院入学試験問題用紙

## 修士課程

一般選考・留学生選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
人文科学研究科	教育学専攻	教育学	不可

2024年12月25日に阿部俊子文部科学大臣（当時）は、中央教育審議会に「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」諮問し、次期学習指導要領の改訂に向けた検討を依頼している。その理由文書では、次のように述べられている。

習得した知識を現実の事象と関連付けて理解すること、生成AIには扱えない概念としての知識の習得や深い意味理解をすること、自分の考えを持ち、根拠に基づいて他者に明確に説明すること、自律的に学ぶ自信がある生徒が少ないこと等に依然として課題が見られます。子供の社会参画の意識、将来の夢を持つ子供の割合等についても、一部改善傾向も見られるものの国際的に見て低い状況が続いています。

では、上記のような、すでに日本において顕在化している課題を解決し、問題状況を克服するために、学校や教師には、どのような取り組みを推進することが求められるか。関係する政策や実践、研究の動向を踏まえつつ、できる限り具体的に論じなさい。

# 令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名	人文科学研究科 教育学専攻
試験期別	Ⅱ期
試験区分	一般、留学生選考
試験科目名	教育学

### ■ 出題の意図

大学院修士課程の学生として、自立的に研究を遂行するために必要な教育学的素養、例えば基礎的・基本的な知識や文章表現力などをきちんと身につけているどうかを判断したい。

### 採点のポイント

- ・現代日本における教育改革や（学校）教育実践の動向を的確に把握しているか。
  - ・上記の「動向」に関連した教育学的な概念や用語を正確に理解しているか。
  - ・自分なりの考えを説得的かつ適切に論述しているか。
- これらを主な視点として、解答の内容を質的に吟味する。